

特集「木と共にある暮らし」の感想

●木の贈り物のページを見て、木の机やいす、1つずつに思いが込められているんだなと思いました。机やいすには学校生活の思い出がたくさんあるんだなと思いました。(土佐市・10歳)

●毎回楽しみに読んでいます。今回の特集では、4年生に机をプレゼントし、しかも卒業したら持って帰れるなんて、すごいなあ、素敵だなと思いました。我が子が4年生なので、羨ましがっていました。こういうことは、ずっと続いていくといいですね。(高知市・45歳)

●ぼくも4年生だから、そんな椅子がほしいなあと思いました。(高知市・10歳)

●木の贈り物の机と椅子の話は、たいへん素晴らしい取り組みで羨ましく思いました。温かな木で学べ、持ち帰りができるなんて、とてもいい取り組みだと思います。(北川村・50歳)

●“特集木の贈り物”がよかったです。すごく素敵な取り組みです。職人さん達が手間をかけて作ったものは本当に長く使えます。私も、小1からの机が30年以上現役です。使い捨て、大量生産が主流の現代において、職人さんたちの技巧や良い物に触れることができ、長く使うことのできる、この取り組みは本当に素敵なことだと思います。(土佐清水市・39歳)

●津野町の木の贈り物は、とても素敵な取り組みだと思います。私の父が元大工で「木造の家は何度でも直して長く使うことができるのが良いところだ」と言っていますが、まさに長く使用できること、受け継いでいけることが魅力であり、これからの地球において私たちがもっと取り組んでいけないといけない課題ですね。(高知市・52歳)

●津野町の取り組みは素敵です。机と椅子がいただけるなんて羨ましいです。木の材質やそれぞれの特性、木によって使われる部位など、色々知りたいです。(高知市・63歳)

●自分だけの机と椅子を使用することで愛着が湧き、更に自宅に持ち帰り再利用する事で木育に繋がると感じました。森林が豊かな高知県ならではの取り組みで素晴らしいと感じました。(香南市・32歳)

●木を身近に感じられる内容で良いと思う。特に今回の木の机についてのページは、あたたかみがあり、津野町の子どもたちは幸せだなと感じた。(いの町・31歳)

●マイ机を作って卒業時にプレゼントって、とても素敵な取り組みですね。親なら机を見るたびに、小学生当時の我が子の姿が頭にうかび、ほっこり幸せな気持ちになれます。(高知市・56歳)

●高知県ではこんなことが行われている地域があるのかと知ることができた。そしてその地域の子どもたちっていいなと思いました。与えられた時はそこまで気づかなくても、他の地域とは違うと知ったときにとっても有り難く感じられるのではないのでしょうか。こんな素敵な取り組みが広がればいいと思います。木の温かみや匂いはとても好きで子どものおもちゃなどにもそういったものを与えるように意識しています。当たり前だけど身近にある木っていいですね。(四万十市・33歳)

●地域で木を使う活動は非常に良いと思います。子供も大事に使ってくれる活動に感じました。(広島県・40歳)

●表紙を見て思わず手に取りました。今の子ども達は、学校で素晴らしい机で勉強しているんだと、驚きと羨ましさがありました。誌面内容を見て、津野町の取り

組みだと知り、この事業が県下に広がればいいなと思いました。(高知市・54歳)

●津野町だけでなく、高知県全体でやってほしい。また、木こり体験を幼稚園のプログラムに取り入れるなど、もっと間口を広げて欲しいと思った。幼稚園に入れている人達は、教育熱が比較的高め。イベント事も多いし、イベントで子供たちは育つと園の教育方針としても言われているので、是非高知県全域に広げて欲しい。森の話、もっと身近にしたいし、せっかく高知で生まれ育ったなら、その良さを小さい頃に体感して欲しい。社会に飛び立つ時にきっと頭の片隅にそんな体験が残って林業に関わる人が増えていくんじゃないかとも思う。“6歳になったら机を作ろう”もとても面白い。高知県の観光体験イベントとしても単独で開催して欲しい。(四万十市・31歳)

●非常に興味深い内容だと感じた。木の魅力が伝わってくる。(南国市・39歳)

●保育園児の子供と一緒に拝見しました。小学校で自分専用の机があるというのを、「いいなあ！そんなのが（自分の行く小学校にも）あったらいいのに」と言っていました。素敵なお取り組みですね。木はあたたかみがあり、木の薫りは、癒やされます。マモルンを子供に読んだところ、興味津々で、難しい言葉を噛み砕きながら読んだところ「木が電気になるがやあ！知らなかった。すごいねえ！ありがとうやねえ」と話していました。山や川に囲まれた田舎育ちの私にとって、森林の大切さや、良さは身近に感じる事ができていましたが、今住んでいる地域ではあまり森林を身近に感じる事が出来ない環境だと改めて感じ、休みの日に、子供が自然を感じる場所に連れて行ってあげたいな・・・と、本書を読みながら感じました。コロナ禍以降、外出をあまりしないようにしていた為、子供に色々な経験をさせてあげていない事を反省します。本書を制本して下さったみなさん、ありがとうございます。また、次回の『もりりん』を親子で心待ちに

しています。(土佐市・37歳)

●“木の香るまちづくり推進事業って何だろう”のページを興味深く読ませていただきました。特に木材が人に与える良い影響が大きいというグラフのデータを見て、木材の生活への効果は確かだと感じました。人と木が共に生きる社会で、人が受け取る有難さだと思います。(高知市・75歳)

●木材利用による環境的なメリットがグラフや表になっていてより分かりやすかったです。(高知市・40歳)

●木材利用による環境的なメリットについて、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比べても格段に違いがあることを初めて知りました。木材資源が豊富な本県が全国に先駆けて、森林環境税を活用した一大イベントを開催し、高知県民はもとより、広く国民に森との関わりを持つよう意識の高揚を図っていただいたら良いと思います。(高知市・70歳)

●マイデスク、とても興味があり読ませてもらいました。学校で使えるというのは魅力的です。身近に木を感じられて素敵だなと思いました。廃材の木からリサイクル電力にできるのは知らなかったの、勉強になりました。(北川村・40歳)

●木は色々なことに使われていることを知りました。(高知市・16歳)

●いつも楽しく読ませていただいています。木質バイオマスについて初めて知りました。かなりの発電量なんです。エコな発電なのにまだ知名度が低いのがもったいないですね。(高知市・38歳)

●いつも見させてもらっています。特に漫画のところは子供と一緒に楽しく見させてもらっています。子供も絵がありわかりやすいのかこのページを楽しみにしています。(佐川町・25歳)

「木の家が持つ魅力をチェック。」の感想

- 家を修繕すると、あんなに綺麗になるなんて、すごいと思いました。ぼくも、直した家に住んでもいいなと思いました。(高知市・10歳)
- 古民家を修繕して再び生活できるようになることは、たいへん素晴らしいことだと思います。昔の人の知恵や工夫を知り、木の温かみを感じます。(香南市・71歳)
- いつも楽しく読んでいます。特に、実際に使われている様子や、住宅の記事がいいと思います。(安芸市・58歳)
- 私は東京から高知県へ来た移住民です。令和5年で2年が経ちます。なので、自然豊かだなあとはいっていましたが、全国一の森林率とは知らずびっくりです。高知県の木の取り組みや住宅の補助金等も知れて今後のためになりました。高知の木の豊かさを自分の子ども達にも伝えてゆきたいです。(香南市・27歳)
- “木の家が持つ魅力をチェック”のコーナーが好きで楽しみに読んでいます。木の温かさを感じられる家の写真を見るのも好きで、心が和みます。(四万十市・48歳)
- 修繕ページの写真を見て、古民家が素敵に生まれ変わっていて羨ましかったです。(香美市・45歳)
- 木材を使った住宅への補助を初めて知りました。今後家を建てることを検討しているので興味深かったです。他に施設見学が気になりました。(高知市・36歳)
- 今号の、文化と歴史をつなぐ家の修繕前と後、すごい変化に感動しました。つい先日、築100年以上の古い家を取り壊したのが、残念に思います。(高知市・43歳)

「6歳になったら机を作ろう！」の感想

- “6歳になったら机を作ろう！”を、四万十町でも是非やってほしいなあと思います。募集型じゃなく、授業の一環として県をあげてやってもらいたい。もっと木に触れさせたいです。(四万十町・44歳)
- 特に“6歳になったら机を作ろう！”に、とても感動しました。市内の小中学校でも体験出来たら素晴らしいと思いましたが、人数的に無理でしょうか。もっとスーパー等、いろいろなところに『もりりん』をおいて、学校にも配布して、たくさんの方に見ていただきたいです。素晴らしい取り組みに賛同です。(高知市・42歳)
- 本当に、高知県にはたくさんの素晴らしいものがあります。子どもにはできなかった事を、孫と一緒に色々楽しみたいです。特に、“6才になったら机を作ろう！”の記事は大切に保管しておきます。これからも楽しみに読ませていただきます。(土佐市・59歳)
- 小学生の子どもが学校から持ち帰ってきてくれるのを、毎号楽しみにしています。入学前に“6才になったら机を作ろう！”のを知りたかったです。(宿毛市・48歳)
- 私は県外出身ですが本当に山、山ですよ。コンクリートジャングルから来ていますからなおさら、ずっと、すごいと思っています。来年子供が6歳になりますので机を作りたいです。(四万十市・30歳)
- 6歳になった娘がいるのでこんな素敵な体験をさせてあげたいなと思いました。(四万十町・年齢無回答)
- 森林県ならではの森林環境税は、とても良いと思う。木こり体験は木に親しむ子どもが増えることで、森を守り育てることにつながる良い企画だと思う。(須崎市・54歳)

「もりりん」について

- 木のことを知らなかったので、よく分かりました。もっと『もりりん』の本を読んで、木のことをもっと知りたいです。(高知市・8歳)
- 小学生でも分かりやすいコーナーがあると嬉しいです。(父代筆)(仁淀川町・8歳)
- 知らないことを詳しく絵や図を使って説明していて、よかったです。(高知市・11歳)
- 写真のチョイスが良かったです。(南国市・15歳)
- 高知の木が使われているのを特集していていいと思う。(高知市・14歳)
- 楽しく拝見させていただいています。続けてもらいたいです。(土佐市・12歳)
- ずっと読み続けたい。勉強になるき。(中土佐町・40歳)
- 分かりやすい。おもしろい。子どもでも読めていい。(高知市・40歳)
- ひらがな多めのページとか、子どもが読めるページがもっとあっても良いと思います。(高知市・47歳)
- 子どもより親が興味を持って読んでいます。すぐそばにある木や森のことを全然知らないことばかりで勉強になります。(香美市・36歳)
- 偶然手にしましたが楽しい内容で高知の森林に興味がありました(大阪府・46歳)
- カラーが多くて読みやすい。(安芸市・86歳)
- 本誌を読んで、ますます、ふるさと高知のことが好きになりました。木の大事さ、資源の有効な使い方を改めて考えていこうと思います。(須崎市・47歳)
- 『もりりん』のサイズと文章量は、ちょうど読みやすいと思いました。ツイッターフォローさせていただきました。(高知市・45歳)
- 森や木の大切さを知る機会になる(中土佐町・40歳)
- 森林環境への取り組みや木材の利用方法などを知ることができておもしろいです。(大川村・37歳)
- 『もりりん』のロゴが可愛くて惹かれました。(高知市・37歳)
- 自分が住んでいる高知県の森林率の高さについて、大人になって改めて考えるようになりました。子供が産まれてからは、出来るだけ木の温もりが感じられる木のおもちゃや食器を使うようになりました。最近の木育という言葉を知り、次男のファーストスプーンを手作りしました。また本誌を読んで森林について考える機会を得ることが出来ました。(香南市・41歳)
- 森林大国の高知県だからこそ、木の魅力を発信できるんですね。保育園で配布されて初めてこちらの雑誌を読みましたが、こういった雑誌で県民に対して発信することはとても良いと思います。自分たちのまわりに、どれだけ木を使ったものがあるのか見直す機会になりました。(南国市・30歳)
- 木の質感が好きで家の床も県産材の無垢床にしました。『もりりん』では、木や自然に関する県の取り組みや補助金等の情報を知ることができるのでいつも読んでいます。(土佐市・31歳)

森林環境税について

●森林環境税について、知っている人が少ないと思います。(高知市・29歳)

●森林環境税のマークを公園で見たことがありますが、環境税がどういう制度か、今回の誌面で知りました。みんなの負担で素敵な木を使ったトイレができ、気持ちよく利用できるのだなぁと考えさせられました。(いの町・38歳)

●こうち山の日イベントにて森林環境税の事を知り関心を持った。イベントをとおして税の使われ方を知ってもらうことはよいと思います。各市町村の森林事業への取り組みなど、毎号で掲載があればいいかなと思います。(越知町・50歳)

●森林環境税が具体的にどういうことに使われているのか、森林保全とは何をしているのかを知りたいです。毎月、アジロ山の木のブランコで遊んだり、木工作品をたくさん作ったりしています。その場だけでなく、日常生活のDIYに興味を持ち、技術取得もしていきたいです。(土佐市・47歳)

●県産材の活用に活かしてほしい。価値を高め、若者が就労できる環境を作ってあげてください。(南国市・55歳)

●若い人が働ける、安定した収入が得られる林業になるように、森林環境税の有効活用を望みます。(香美市・61歳)

●税の徴収後は、森林を守ることに使って欲しいと思います。国有林だけでなく、私有林にも広く手助けできる仕組みを考えてください。(南国市・63歳)

●森林環境税で一人一人が、今ある森を守っていったって大切に思う気持ちが広がれば良いなと思いました。

日々木の温もりを感じたり、山を見ることで季節の移ろいを感じたりする気持ちを大切にしていきたいなと感じました。(高知市・38歳)

●高知は江戸時代、クスノキから樟脳を作ることで経済を支えてきた。森と生きる高知県であるよう、森林環境税が活用されると良いと思います。(宿毛市・42歳)

●11月初旬に2人の子どもを連れて高知県森林研修センターへ遊びに行きました、たくさん木のおもちゃに触れて、木の温もりを感じたように思います。高知の財産である森林を、これからの未来の子ども達へと受け継ぎ、大切にしたいと考えるので、森林環境税は必要だと思います。(高知市・26歳)

●森林環境税は必要です。森林整備をしてないと、大雨の時、土砂崩れなどがおき、恐いです。生活を守るのに、この税金は要ります。本誌は森林がいかに関わりの生活と大事な関わりがあるか、よく分かります。(高知市・68歳)

●木の贈り物〜ずっと一緒に大切に〜の、マイデスク・マイチェア。津野町の子ども達にプレゼントされ森林環境税は、地球温暖化対策にも一役買っているの、引き続き必要なことと考えます。令和6年度より国税として1人年額1000円の徴収があるようですが、県民と森林保全を密接にしていくなためにも、従来どおり県民税500円を追加徴収することがいいのではと思います。(いの町・67歳)

●森林環境税がどのように活用されているのか具体例を見ることができて良かったです。特に「木の贈り物」で紹介された取り組みは素晴らしいと感じました。木材の心地よさを子どもの頃から実感できますし、自分の物として愛着を待ち、長く大切に使用することを学べると思いました。今後もこのような取り組みに活用していただきたいです。(高知市・36歳)

意見・要望等

●やまをまもりたいとおもいました（四万十市・5歳）

●木育、補助金制度、関係団体等について、わかりやすく解説してほしい。（南国市・61歳）

●高知県からのお知らせで、補助金お知らせを見て、実際に家を建てるときに参考にしました。大工さんも使えると話していて、建築中も写真を撮っていました。いざ、申請する時に使えないと言われ、大ショック。国の補助金の締め切りが早かったので先に申請していた事がダメな原因でした。大工さんも、事前に県の建築課にも聞いていたにも関わらず…補助金は色々と複雑で確認が難しいものが多いです。もう少し入り口の説明を親切にしてもらいたいと思うので、申請出来ないパターンの事も業者側へ周知をお願いしたいです。香美市での木育の取り組み凄く好きです。南国市や他の市町村もやって欲しいです。市町村に任せず、県が主体で机作りやおもちゃプレゼントして欲しいです。（南国市・36歳）

●木の床でハイハイさせると脳にいいと聞きました！その他にもたくさんあるはずです。子育て世帯特集とりたいです。（香美市・31歳）

●森林を育む動植物は、地味であったり小さかったり。あまり注目されていないけど、重要だったり、可愛かったり。そういう生き物を紹介していただきたいです。（宿毛市・61歳）

●山間部の高齢化などで荒廃していく森林環境を守っていく仕組みが必要だと感じる。（高知市・51歳）

●木に触れ合う機会が欲しいです。イベントとしてやっているのかもしれませんが、保育や学校を通じて広報してください。日高村で薪作りをしていることや、本紙で紹介されている机がつかれることなど。山が綺

麗であるから里が潤います。里が潤うから川や海が潤うのです。林業だけでなく、一次産業を衰退させてはいけません。漁業が手を組んだ取り組みをしていくことが重要です。是非、横のつながりを広げて頑張ってください。私も出来ることからしていきます。（芸西村・43歳）

●もっと森林や木に触れるイベントを増やしてほしいです。（中土佐町・38歳）

●小学校で配布される本誌にいつも楽しみにしています。森林ウォークなど気軽に出来る場所を知りたいです。（高知市・47歳）

●高知県は、豊富な森林を有しているのでそれを活かした環境ツーリズムなどがますますさかんになればいいと思う。子どもたちも、都会に憧れるのではなく、ネットが普及した今だからこそ、高知に残って自然豊かな中で生活してもらいたい。（宿毛市・40歳）

●体験会に興味があります。子ども対象のものだけではなく、大人向けにも見学や体験、ワークショップなどの企画があると嬉しいです。（仁淀川町・35歳）

●全国で森林率一位を活かして木の家の良さをどんどんアピールして欲しい（宿毛市・57歳）

●日本一の森林県だということを経済に活かさない手はないと思う。子どものイベントは、森林職へと将来がつながって、とてもいいと思います。（高知市・41歳）

●自分たちの住む町を森林から守ろうとする姿勢が好きです。もっともっと林業が盛んになってほしい。もっともっと林業に携わっている人について身近なところで情報を入手できるようになってほしいです。（秋田県・31歳）

●林業は個人努力で継続・発展していくものではなく、環境・社会状況を長期的視野で検討し、県民の財産ととらえて守ってほしいと思います。(佐川町・64歳)

●他県から引っ越してきて、今回初めて娘の保育園からもらいました。以前住んでいた県も森林が7割から8割を占めていて林業が盛んでしたが、あまり取り組みについて発信はされていませんでした。このような形で子どもから大人まで読みやすい冊子で、林業の取り組みについて発信することは良いことだと森林環境税のこと全然知りませんでした。でも「もりりん」を読んで素敵な取り組みだなと感じました。いつか高知県の電気代は全て環境にやさしいクリーンエネルギーで賄えたらいいなと思いました。(高知市・33歳)

●昔に比べると断然、高知県産の木材を感じる事が増えてきたと感じる。建物であったり、県産品のお土産であったり……ですが、森林環境保全活動の担い手不足はまだ課題なのかなとも感じます。若い子や移住者がより魅力を感じる事業に繋がるよう税金も適正利用頂ければと思います。なかなか簡単な話ではないとは感じます。ですが、先にも述べたように昔に比べると変わったので、これからも少しずつ積み重ねていく事でまた変わってくるのかと今後に期待します。(佐川町・36歳)

●山を所有していますが、手入れもできず放置状態の部分があります。現在は80過ぎの祖父が健在で、木を利用することもあります。以降はどうすればいいのでしょうか。炭作り等、体験してみたい。(高知市・50歳)